

TOPICS
4

トピックス…④

令和3年度酪農教育ファーム
スキルアップ研修会の概要

本会議は、令和3年9月7日から同11月19日の間、8回に亙り酪農教育ファームスキルアップ研修会をWEBにて開催した（表参照）。本研修会の主な目的は、酪農教育ファーム活動における安全・衛生・防疫対策について再確認すること、ファシリテーションスキルを向上させること、最近の酪農を巡る情勢に関する情報と問題意識の共有を図ること等であり、合計156名のファシリテーターが受講した。

1. 酪農教育ファーム活動における安全・衛生・防疫対策の確認

酪農教育ファーム活動の基本である「安全・衛生・防疫対策」について再確認することを目的として、木島秀雄氏（愛知県学校給食牛乳協会 事務局長）、村田 亮氏（酪農学園大学獣医学群 講師）、天野はな氏（千葉県農業共済組合西部家畜診療所 技術主査）による講演を行った。

(1) 木島秀雄氏による講演

木島講師は、酪農教育ファームは、一般的な酪農家（牧場）と比べて家畜と人との直接的・間接的接触の機会が多いこと、このことから人を介在して家畜が感染症に感染するリスクが高いこと、また動物（家畜）に由来する感染症等に人（特に子供）が感染するリスクも高いことを踏まえ、「酪農教育ファーム認証牧場における安全・衛生等の管理対策について」と題して、「安全管理」、「衛生管理」、「生乳の取り扱い」、「手作り体験時の注意点」等について講演した。

とくに、安全な酪農体験を実現するため受け入れ前に実施しておくこととして、①異常牛と要注意牛は隔離、②危険エリアと見学可能エリアの区分の明確化、③畜舎周囲の整理整頓・清掃・消毒、④牛舎出入口の踏込消毒槽の設置、⑤手洗い場の準備や石鹸・消毒液等の確認、⑥薬品類（消毒剤・殺虫剤等）管理の徹底、⑦重機・作業用車両の安全管理の徹底、⑧保険（施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険等）の加入、⑨食品の手作り体験実施の場合の保健所への事前相談等の重要性を指摘した（各講師共通）。

(2) 村田 亮氏による講演

村田講師は、伝染病学、公衆衛生学並びに家畜衛生学の観点から、「酪農教育ファームにおける安全・衛生の確認」と題して、酪農教育ファームにおける「安全」、「衛生」並びに「生乳の取り扱い～手作り体験時の注意点～」に関して再確認すべきことを中心に講演した。

(3) 天野はな氏による講演

天野講師は、「酪農教育ファーム活動における安全・衛生・防疫対策の基準」と題して、「新型コロナウイルスを想定した消

費者交流に係る感染予防ガイドライン」の解説に加え、酪農教育ファーム活動を行う上で、「来場者」と「受け入れる牧場」の双方における「安全」と「衛生面」に関して、どのようなことを意識すればよいのか等について講演した。

消費者交流活動における新型コロナウイルス感染予防対策については、地域の生活圏において緊急事態宣言が発出されている等、地域での感染拡大の可能性が報告された場合は、自粛等（無理をして実施しないこと）の重要性を強調した。

2. 自らの酪農体験プログラムを磨くワークショップ

本ワークショップは、参加者の主体性を重視した体験型の研修（参加者同士の話し合い等を含む）を通じて、酪農教育ファームファシリテーターの役割や重要性を再確認し、自らの酪農教育ファーム活動を客観的に振り返り、これまでの成果と課題、課題解決の方法等に気付き、ファシリテーションスキルの向上を図ることを目的としている。本年度は、上田 融氏（NPO法人いぶり自然学校 代表理事）、石川世太（株式会社musuhi 取締役COO、ひとつまみの希望主宰）を講師に迎えワークショップを実施した。

表 令和3年度酪農教育ファームスキルアップ研修会

(敬称略)

No.	開催日	安全・衛生・防疫講師	ワークショップ講師	参加者数
1	9月7日	愛知県学校給食牛乳協会 事務局長 木島秀雄	NPO法人いぶり自然学校 代表理事 上田 融	24
2	9月17日	酪農学園大学獣医学群 講師 村田 亮		16
3	10月5日	千葉県農業共済組合 西部家畜診療所 技術主査 天野はな		17
4	10月14日	愛知県学校給食牛乳協会 事務局長 木島秀雄		10
5	10月29日	千葉県農業共済組合 西部家畜診療所 技術主査 天野はな	株式会社musuhi 取締役COO ひとつまみの希望主宰 石川世太	23
6	11月5日	酪農学園大学獣医学群 講師 村田 亮		18
7	11月10日	千葉県農業共済組合 西部家畜診療所 技術主査 天野はな		21
8	11月19日	酪農学園大学獣医学群 講師 村田 亮		27